

「おいしいお米に」

塩江小児童田植え

高松市塩江町の塩江小学校(鬼無敬子校長)の児童が四日、近くの水田で田植えに挑戦。児童たちは「大きくなって」「おいしいお米に」と願いを込めながら、一株ずつ丁寧に苗を植え付けた。

豊作願い 一株ずつ

田植えは、同校で毎年実施している恒例行事。今年は、四年生の児童が総合学習の一環で米作りについて学んでおり、五月初めに「紅もち」とい

「が訪れ、苗の植え方を伝授した。児童たちは「根元を持つて」などとアドバイスを受けながら、田んぼに張ったロープを目印に慎重に苗を植え付けた。四年生の赤松菜さん(五)は「足が思うように動かず、苗を植えるのが難しかった」と話していた。

苗を育てた。この日の田植えには全校児童五十人が参加。同校の保護者たちで作る「農園指導部」のメンバ

が訪れ、苗の植え方を伝授した。児童たちは「根元を持つて」などとアドバイスを受けながら、田んぼに張ったロープを目印に慎重に苗を植え付けた。四年生の赤松菜さん(五)は「足が思うように動かず、苗を植えるのが難しかった」と話していた。



丁寧に苗を植える児童たち—高松市塩江町

収穫したもち米は、十一月の収穫祭でおもちにして地域の人たちに振る舞う予定。